

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和2年3月30日

北アルプス地域振興局

提出区分	実績					
整理番号	25	課題区分	A			
実施機関	北アルプス地域振興局林務課			担当課	所属	林務課
事業名	「木質バイオマス資源」活用推進事業				電話	0261-23-9655
					E-mail	kitachi-rimmu@pref.nagano.lg.jp
事業概要	目的 (目指す姿)	アカマツ(松くい虫被害材)の利用促進と健全な森林の育成				
	現状と課題	令和元年以降、大型木質バイオマス発電施設の稼働に伴う燃料用木材需要が急激に増加する見込みであるが、搬出利用が可能な松くい虫被害材等の低質材の位置・量に関する基本情報が不足しており、燃料用木材の供給は管内林業事業体の事業計画に委ねられている。今後、北アルプス管内から計画的・安定的に燃料用木材を供給するためには、利用可能な「資源の位置」「資源の量」を明確にし、林業事業体に情報提供することにより、より計画的な木材供給が可能となる。				
	内容 (変更後の内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・既存データ解析(職員実行(県林業総合センターの支援により実施)) 「松くい虫被害見える化マップ」の解析により、松くい虫被害木の位置・面積情報を整理するとともに、既存森林資源データから利用可能な森林の場所を推計。 ・現地調査(地域振興推進費活用) 既存データから利用可能と推計される森林でプロット調査を行い、現実林分の資源蓄積量を把握し、利用可能な資源量を算出。 利用可能資源の位置・量に関する情報を林業事業体や市町村に提供し、今後の燃料用木材供給に関する事業計画策定に活用するとともに、令和2年度以降の樹種転換・更新伐事業等による素材生産量や流通実態を聞き取りにより把握し、算出された利用可能資源量の検証を行う。 				
	事業期間	令和1年12月2日		～	令和2年3月20日	
	成果目標 (成果指標)	松くい虫被害市町村における搬出利用が可能な松くい虫被害材等低質材の位置・量を把握				
事業費	(単位:円)					
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考		
	「木質バイオマス資源」活用推進事業	搬出利用可能なアカマツ林のプロット調査 4エリア	95,315	役務費		
	合計		95,315			
事業実績・成果	事業実績		事業の成果		評価	
	【森林病虫害被害木の現況調査】 ○管内で最も激害地である池田町において、アカマツ林の被害調査を実施。 ○調査プロットにおいて、毎木調査実施。 (胸高直径、樹高、枯損状態を調査)		調査結果 ・池田町内 4プロット毎木調査実施 調査本数 44本 平均樹高 25.7m 総材積 4,336 m ³ 、うち枯損木材積 1,820m ³ 枯損材積率 42.0%		<input type="radio"/> 期待以上 <input checked="" type="radio"/> 期待どおり <input type="radio"/> やや下回る <input type="radio"/> 期待以下	
今後の方向性	他市町村でも同様の調査を実施していく事により、大北管内での利用可能資源量の検証を行う。					